

MIS タイムアウト - Windows 2000 へのアップグレード後の ECS PIM の変更

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[MIS アーキテクチャ](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、なぜ Message Integration Service (MIS) プロセスがタイムアウトするかの原因を説明し、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境での解決策を説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解する必要があります。

- Cisco ICM
- Microsoft Windows NT および 2000 サーバ
- Peripheral Gateway (PG) の MIS プロセス

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.6.2
- Microsoft Windows NT および 2000 サーバ

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

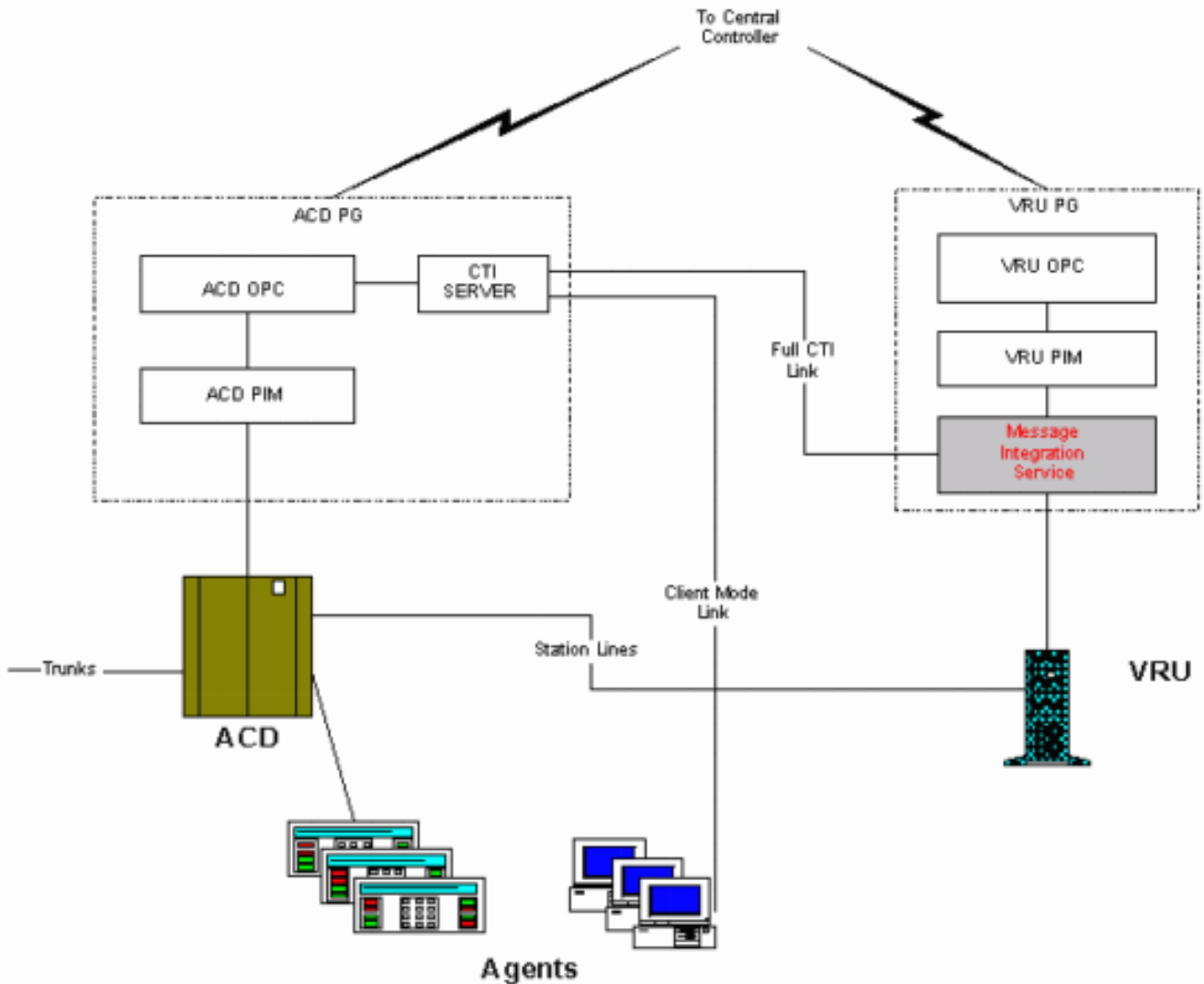
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

MIS アーキテクチャ

MIS は規格によってノード管理されるアプリケーションで、Voice Response Unit (VRU) PG サービスの中で VRU 周辺装置インターフェイス マネージャ (PIM) と共に実行します。次のダイアグラムは MIS の高レベル プロセス アーキテクチャを示します。

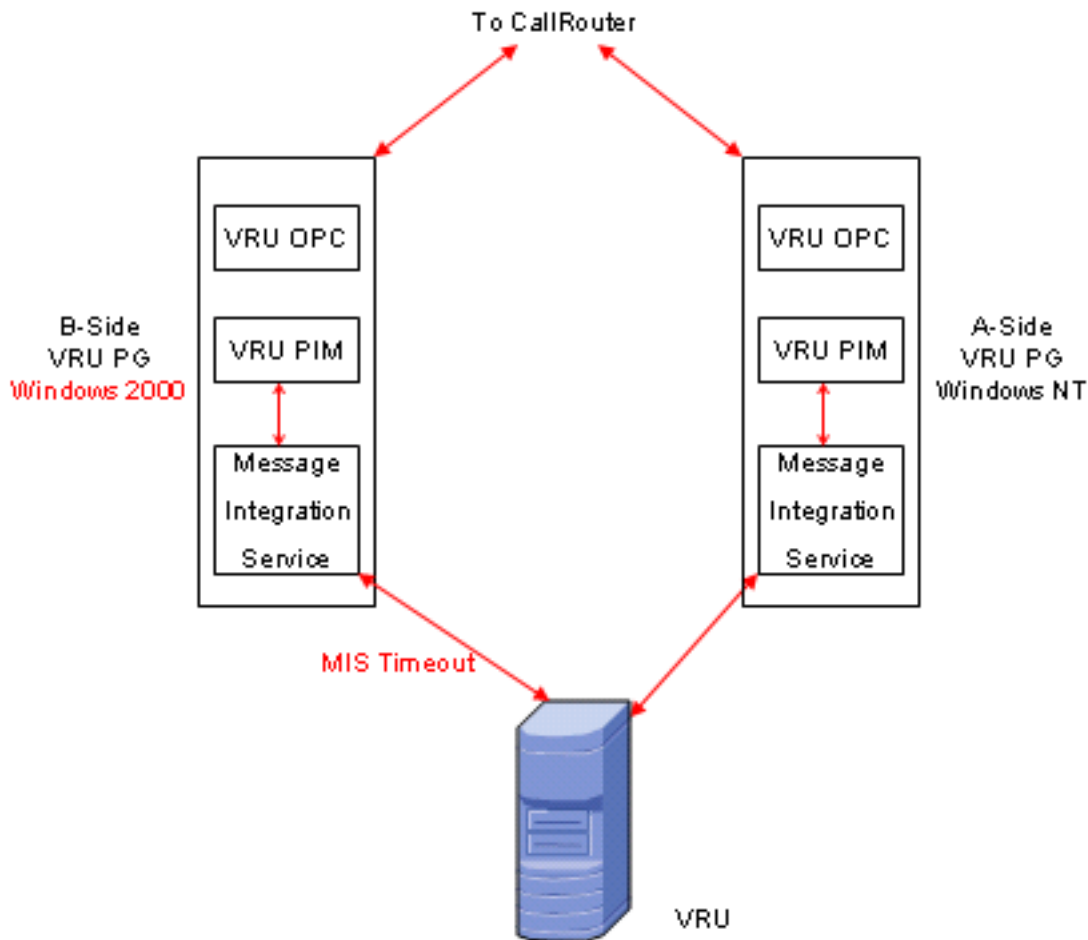
図 1： MIS アーキテクチャ



問題

Windows 2000 サーバへの Windows NT 4.0 をアップデートした後、VRU PG の MIS プロセスは [図 2](#) に示すように MIS タイムアウトに、よる VRU を停止します。

図 2： トポロジ



解決策

この問題はレジストリ 設定によって引き起こされます。Operating System (OS) が ICM をアップグレードするとき、古いレジストリの変更は維持されません。現在のレジストリ 設定は新しいデフォルトと上書きされます。従って、Windows NT を、理由未知数のために、レジストリキーの値は Windows 2000 サーバにアップグレードしている間キューのコール滞在を表し、コールがそのコールのための Open Peripheral Controller (OPC) にイベントに行く確立しなかった 1 つに、設定されます。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Geotel\ICR\PIMS\pim1\ATTDData\Dynamic\ConverseConnectRemainsInQueue
```

この原因、時間を計るべき MIS プロセス。

偽に **ConverseConnectRemainsInQueue** を設定して下さい (0)。これは接続状態に置かれるべきコールを表し、CSTA は OPC にイベントを送信され、解決しず問題を確立しました。これはダイナミックレジストリキーであり、プロセスをリサイクルする必要がありません。

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)